

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場会社名 株式会社大戸屋ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2705 URL http://www.ootoya.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 窪田 健一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 松岡 彰洋 (TEL) 0422(26)2600
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	12,646	△0.2	253	21.1	199	△9.8	29	△17.4
28年3月期第2四半期	12,677	4.6	209	△3.6	220	2.3	36	△52.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △53百万円(-%) 28年3月期第2四半期 52百万円(△30.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	4.15	4.14
28年3月期第2四半期	5.02	5.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	10,555	4,391	41.3
28年3月期	12,149	4,620	37.7

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 4,357百万円 28年3月期 4,578百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	25.00	25.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	3.8	750	25.0	700	18.2	350	15.1	48.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	7,196,000株	28年3月期	7,192,500株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	137株	28年3月期	137株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	7,194,562株	28年3月期2Q	7,190,612株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融対策により緩やかな回復基調が続いているものの、企業業績・個人消費は当初の期待どおりには改善が進まず、英国のEU離脱等海外経済の不透明感から株式市場が不安定になるなど、不透明な状況が続く展開となりました。

このような環境の中、外食産業におきましても、消費者の節約意識の高まりにより個人消費が停滞し、人件費の高止まりに加え、コンビニエンス・ストアや食品スーパー等との顧客獲得競争がさらに激化し、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループの当連結会計年度は、「人々の心と体の健康を促進し、フードサービス業を通じ、人類の生成発展に貢献する」という経営理念のもと、店舗価値の向上や人材の育成に継続して取り組むとともに、コーポレート・ガバナンスの強化による企業価値の向上にも取り組んでおります。7月にはグランド・メニューをリニューアルするなど商品の改善にも取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の店舗展開につきましては、国内におきまして、「大戸屋ごはん処」直営5店舗を首都圏及び関西圏に、フランチャイズ5店舗を地方都市に新規に出店いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間中に合計10店舗を出店したため、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は当社グループ合計で438店舗（うち国内直営142店舗、国内フランチャイズ206店舗、海外直営13店舗、海外フランチャイズ77店舗）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、個人消費の停滞、販管費の減少、為替差損の影響もあり、売上高は12,646百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益253百万円（同21.1%増）、経常利益199百万円（同9.8%減）となり、受取保険金8百万円及び受取和解金4百万円を特別利益に計上する一方、固定資産除却損7百万円及び店舗閉鎖損失5百万円を特別損失に計上し、法人税等合計が166百万円となったため、親会社株主に帰属する四半期純利益は29百万円（同17.4%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 国内直営事業

国内直営事業は「大戸屋ごはん処」5店舗（上野公園店、ライフ相模原若松店、須磨パティオ店、宝塚安倉店、松戸駅前店）の新規出店があり、国内直営事業でありました3店舗（阪奈菅原町店、代々木駅前店、パサージュ西新井店）が国内フランチャイズ事業となりましたが、国内フランチャイズ事業でありました1店舗（モラージュ菖蒲店）について国内直営事業としました。また、国内直営事業2店舗（柏東口店、松戸駅西口店）、他業態1店舗（大戸屋ダイニングおとや笛吹川フルーツ公園店）が閉店いたしました。

これにより、当第2四半期連結会計期間末における国内直営事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」141店舗、「おとや」（他業態）1店舗の総計142店舗となりました。

以上の結果、国内直営事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は7,015百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益114百万円（同21.3%増）となりました。

② 国内フランチャイズ事業

国内フランチャイズ事業は、「大戸屋ごはん処」5店舗（ウェルディ長泉店、佐賀北バイパス店、マックスバリュ千代田店、岡崎南店、エイスクエア草津店）の新規出店があり、国内フランチャイズ事業でありました1店舗（モラージュ菖蒲店）が直営事業となりました。また、3店舗（阪奈菅原町店、代々木駅前店、パサージュ西新井店）について国内フランチャイズ事業としました。

これにより、当第2四半期連結会計期間末における国内フランチャイズ事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」206店舗となりました。

以上の結果、国内フランチャイズ事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は4,041百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益515百万円（同0.0%減）となりました。

③ 海外直営事業

海外直営事業は、当第2四半期連結会計期間末現在、13店舗（香港大戸屋有限公司が香港に4店舗、OOTOYA ASIA PACIFIC PTE. LTD. がシンガポール共和国に3店舗、AMERICA OOTOYA INC. が米国ニューヨーク州に5店舗、M OOTOYA (THAILAND) CO., LTD. がタイ王国に1店舗）稼働しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,364百万円（前年同期比0.4%増）、営業損失46百万円（前年同期は167百万円の営業損失）となりました。

④ 海外フランチャイズ事業

海外フランチャイズ事業は、当第2四半期連結会計期間末現在、77店舗（タイ王国において45店舗、台湾において25店舗、インドネシア共和国において5店舗、中国上海市において1店舗、ベトナムホーチミン市において1店舗）を展開しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は86百万円（前年同期比40.2%減）、営業利益32百万円（同35.3%減）となりました。

⑤ その他

その他は、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業等であり、当第2四半期連結会計期間末現在、株式会社O T Y フィールがメンテナンス事業を、株式会社O T Y 食ライフ研究所が食育事業を、THREE FOREST (THAILAND) CO., LTD. が当社のプライベートブランド商品（焼魚に使用する魚の加工品）に係る品質管理事業等をタイ王国で行っており、THREE FOREST (THAILAND) CO., LTD. が海外向け食材販売の一部を行ったことにより当第2四半期連結累計期間の売上高は137百万円（外部顧客に対する売上高。前年同期比2.5%増）、営業損失0百万円（前年同期は28百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、現金及び預金2,885百万円を主なものとして4,553百万円（前連結会計年度末比24.8%減）、また、固定資産は、店舗等の有形固定資産3,477百万円と敷金及び保証金1,813百万円を主なものとして6,002百万円（同1.5%減）であり、資産合計では10,555百万円（同13.1%減）となりました。これは主に、現金及び預金が減少したためであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、1年内返済予定の長期借入金1,366百万円、買掛金1,011百万円及び未払金763百万円を主なものとして3,833百万円（前連結会計年度末比15.1%減）、固定負債は、長期借入金900百万円を主なものとして2,331百万円（同22.6%減）であり、負債合計では6,164百万円（同18.1%減）となりました。これは主に、長期借入金が増加したためであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は4,391百万円（前連結会計年度末比5.0%減）となり、自己資本比率は41.3%となりました。これは主に、配当金の支払により利益剰余金が減少したためであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動により27百万円を獲得し、投資活動により456百万円を使用し、財務活動により1,064百万円を支出した結果、2,767百万円(前連結会計年度末比18.0%減)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、得られた資金は27百万円(前年同期比87.7%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益195百万円を計上し、減価償却費400百万円等の非資金的費用がありました。未払金の減少による支出52百万円、法人税等の支払による支出600百万円等があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は456百万円(前年同期比3.5%減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出292百万円があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、支出した資金は1,064百万円(前年同期は1,113百万円の調達)となりました。これは主に、借入金の返済による支出が804百万円と配当金の支払額180百万円があったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では平成28年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,409,601	2,885,320
売掛金	931,031	849,753
原材料及び貯蔵品	72,971	65,565
その他	667,731	773,987
貸倒引当金	△26,655	△21,493
流動資産合計	6,054,680	4,553,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,540,313	2,521,740
工具、器具及び備品(純額)	919,451	829,997
その他(純額)	135,173	125,518
有形固定資産合計	3,594,939	3,477,256
無形固定資産		
のれん	87,287	201,062
その他	80,116	71,159
無形固定資産合計	167,403	272,221
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,869,720	1,813,198
その他	462,774	439,792
投資その他の資産合計	2,332,494	2,252,991
固定資産合計	6,094,837	6,002,468
資産合計	12,149,517	10,555,601
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,152,399	1,011,539
1年内返済予定の長期借入金	1,520,108	1,366,786
リース債務	153,152	146,314
未払金	808,563	763,201
未払法人税等	510,634	105,232
賞与引当金	53,719	68,016
店舗閉鎖損失引当金	4,879	4,131
その他	312,798	367,977
流動負債合計	4,516,254	3,833,198
固定負債		
長期借入金	1,552,282	900,900
リース債務	258,507	212,710
退職給付に係る負債	285,203	293,605
資産除去債務	306,004	322,146
その他	610,420	601,914
固定負債合計	3,012,418	2,331,277
負債合計	7,528,673	6,164,475

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,471,355	1,473,128
資本剰余金	1,389,555	1,391,328
利益剰余金	1,522,286	1,372,315
自己株式	△121	△121
株主資本合計	4,383,076	4,236,650
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,677	46,646
為替換算調整勘定	167,848	87,383
退職給付に係る調整累計額	△16,720	△13,671
その他の包括利益累計額合計	195,805	120,359
新株予約権	808	637
非支配株主持分	41,154	33,480
純資産合計	4,620,844	4,391,126
負債純資産合計	12,149,517	10,555,601

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	12,677,088	12,646,071
売上原価	5,614,114	5,639,501
売上総利益	7,062,974	7,006,570
販売費及び一般管理費	6,853,339	6,752,678
営業利益	209,635	253,891
営業外収益		
受取利息	554	521
受取配当金	294	544
協賛金収入	16,706	25,601
その他	19,620	12,769
営業外収益合計	37,175	39,437
営業外費用		
支払利息	25,311	19,391
為替差損	738	74,865
その他	86	16
営業外費用合計	26,136	94,273
経常利益	220,673	199,056
特別利益		
受取保険金	—	8,659
受取和解金	—	4,960
店舗売却益	10,793	—
特別利益合計	10,793	13,619
特別損失		
固定資産除却損	7,880	7,910
減損損失	18,852	1,993
店舗閉鎖損失	3,065	5,100
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	2,466
社葬関連費用	26,174	—
特別損失合計	55,972	17,471
税金等調整前四半期純利益	175,494	195,204
法人税等	133,087	166,779
四半期純利益	42,407	28,424
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	6,282	△1,412
親会社株主に帰属する四半期純利益	36,124	29,837

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	42,407	28,424
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,638	1,969
為替換算調整勘定	2,117	△86,827
退職給付に係る調整額	2,015	3,048
その他の包括利益合計	9,771	△81,809
四半期包括利益	52,178	△53,384
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,035	△45,608
非支配株主に係る四半期包括利益	6,142	△7,776

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	175,494	195,204
減価償却費	482,770	400,588
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△5,161
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,210	15,084
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△2,496	△748
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,172	12,773
受取利息及び受取配当金	△848	△1,065
支払利息	25,311	19,391
店舗売却損益(△は益)	△10,793	—
受取保険金	—	△8,659
固定資産除却損	7,880	7,910
減損損失	18,852	1,993
売上債権の増減額(△は増加)	14,916	72,202
たな卸資産の増減額(△は増加)	△34,761	4,768
預け金の増減額(△は増加)	25,944	21,935
前払費用の増減額(△は増加)	△27,892	△33,739
未収入金の増減額(△は増加)	13,578	△13,696
仕入債務の増減額(△は減少)	△58,000	△124,373
未払金の増減額(△は減少)	△92,052	△52,650
未払費用の増減額(△は減少)	△11,853	6,492
未払消費税等の増減額(△は減少)	△221,525	67,744
その他	45,641	42,622
小計	359,549	628,618
利息及び配当金の受取額	652	911
利息の支払額	△26,287	△19,005
受取保険金の受取額	—	17,693
法人税等の還付額	59,689	—
法人税等の支払額	△171,245	△600,767
営業活動によるキャッシュ・フロー	222,357	27,450

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付けによる支出	—	△14,470
貸付金の回収による収入	5,282	5,949
有形固定資産の取得による支出	△481,261	△292,423
有形固定資産の売却による収入	—	9,450
無形固定資産の取得による支出	△673	△139,846
店舗売却による収入	38,486	22,766
長期前払費用の取得による支出	△23,615	△26,384
敷金及び保証金の差入による支出	△26,002	△25,128
敷金及び保証金の回収による収入	43,770	19,541
その他	△28,811	△15,656
投資活動によるキャッシュ・フロー	△472,824	△456,202
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	700,000	—
短期借入金の返済による支出	△700,000	—
長期借入れによる収入	2,700,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,305,304	△804,704
リース債務の返済による支出	△103,854	△82,674
株式の発行による収入	2,410	3,374
配当金の支払額	△179,252	△180,018
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,113,999	△1,064,022
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,398	△31,000
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	864,930	△1,523,776
現金及び現金同等物の期首残高	2,509,129	4,291,581
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,374,060	2,767,804

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内 直営事業	国内フラン チャイズ 事業	海外 直営事業	海外フラン チャイズ 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	7,153,946	3,885,225	1,358,774	145,378	12,543,325	133,763	12,677,088
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	272,186	272,186
計	7,153,946	3,885,225	1,358,774	145,378	12,543,325	405,949	12,949,275
セグメント利益又は損失(△)	94,382	515,359	△167,049	50,164	492,858	28,295	521,153

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	492,858
「その他」の区分の利益	28,295
セグメント間取引消去	6,104
全社費用(注)	△317,622
四半期連結損益計算書の営業利益	209,635

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内 直営事業	国内フラン チャイズ 事業	海外 直営事業	海外フラン チャイズ 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	7,015,442	4,041,697	1,364,840	86,930	12,508,911	137,160	12,646,071
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	212,179	212,179
計	7,015,442	4,041,697	1,364,840	86,930	12,508,911	349,340	12,858,251
セグメント利益又は損失(△)	114,447	515,143	△46,581	32,438	615,448	△474	614,974

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	615,448
「その他」の区分の利益	△474
セグメント間取引消去	11,645
全社費用(注)	△372,727
四半期連結損益計算書の営業利益	253,891

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「国内直営事業」セグメントにおいて、店舗の譲受けを行いました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、131,646千円であります。